

限らない幸せと成功を手に入れる「幸せ」の法則

## 66. 愛は嫉妬を征服する

毒にあたって苦しむのは、嫉妬する本人なのだ。

---

マーフィーは言っています。「人を嫉妬し憎むことは、自分を嫉妬し憎むことと卵夢譚毒嫉です。結局はめぐりめぐって自分にハネ返ってくるからです」

嫉妬は、出された美味しい料理に自分で毒をふりかけて食べるようなものです。毒にあたって苦しむのは嫉妬する本人です。嫉妬に苛（さいな）まれると、夫や妻、恋人、友人の愛が信じられず、疑いの目でしか相手を見ることができなくなります。相手に自分だけをみつめることを強要しますが、いくら相手がそれに応えても、嫉妬深い人は満足できません。その上、嫉妬の毒に蝕まれているので、少しも安らかな心境にならないのです。その心中にはいつも恐怖が居座っており、他人への不信感と自分に対する自信の欠如が心を占領しています。

嫉妬の苦しみから抜け出すには、自分に絶対の自信をもつことです。そして相手に対する不信や疑惑が、自分の潜在意識のしわざであると認めることです。否定的な考えをやめると同時に、疑惑も消えます。その代わりに、愛と平和と信頼の思いを伝え合うことです。そうすれば嫉妬の居場所はなくなります。

---

美味しい料理に「毒」をかけるな

疑心暗鬼

嫉妬心

妻、恋人、友人たちの誠実な愛情で盛られた美味しい料理でも嫉妬深い人は疑いの目で見る。

マーフィーの言葉

嫉妬深い人は、常に不安や恐怖、無力感にとらわれてしまいます。

愛と信頼は嫉妬を追い払います。

きこ書房

マーフィー「お金」と「幸せ」の法則 ジョセフ・マーフィー・インスティテュート編